

# 宇和海における調査について

## 1. 調査目的

伊方発電所は佐田岬半島北側の伊予灘に面し、佐田岬半島南側は宇和海に面する（写真 - 1）。宇和海では3号機建設時の音波探査結果において活断層は確認されていないが、2007年能登半島地震や2007年新潟県中越沖地震に関する各種機関での調査・分析結果等を見据え、データの拡充の観点から宇和海において必要な追加検討・調査を実施する。

## 2. 宇和海における調査の概要

### (1) 実施期間（表 - 1）

平成19年11月上旬～平成20年1月下旬（現地調査予定期間）  
引き続き解析作業を実施予定。

### (2) 調査場所（図 - 2）

宇和海（敷地から半径30kmを含む矩形範囲）

### (3) 調査内容

#### 音波探査

測線数：約50本  
総測線長：約1,000km

### (4) 調査手法（図 - 1）

調査船で発振器と受振器を曳航し、音波の発振後に地層境界面等で反射して戻ってくる音波を受振して、海底の地層の状況を把握する。(独)産業技術総合研究所が開発した最新の調査機器等を用いる。

表 - 1 工程表

	H19		H20		H21
	上期	下期	上期	下期	上期
宇和海調査	現地調査	H19.11 ~H20.1			
音波探査					
地質総合解析					

（注記）20年2月から3月にかけては、現地調査で得られたデータを確認し、地質総合解析のためのデータを整備する予定。



写真 - 1 敷地近傍の状況

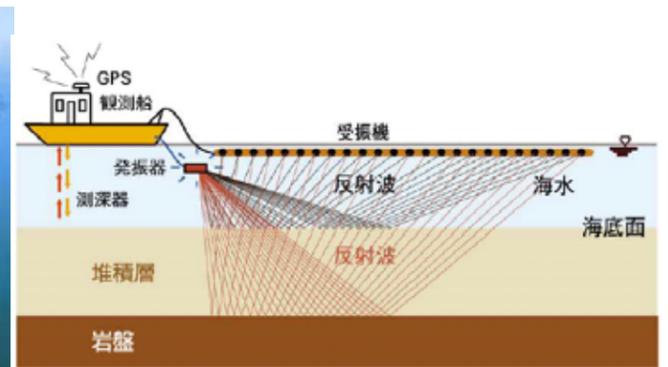


図 - 1 調査手法の概念図



図 - 2 宇和海の追加調査範囲

凡例

- 活断層
- 3号建設時調査範囲
- 今回追加調査範囲